

## 1 平成 25 年度 普通会計決算状況(総括)

# 普通会計決算の概要

## 1 調査団体数

平成25年度財政状況調査の対象となった普通会計団体数は次のとおりである。

市	町	村	一部事務組合	調査団対数
19	23	35	62	139

## 2 決算規模

平成25年度の調査団体の普通会計決算額は次のとおりである。

(単位:百万円、%)

区 分	平成25年度(A)	平成24年度(B)	(A)/(B)×100
歳 入	1,093,652	1,053,012	103.9
歳 出	1,044,118	1,012,733	103.1
差 引	49,535	40,279	123.0

## 3 収支の状況

### (1) 実質収支

ア 平成25年度の調査団体の普通会計の形式収支(歳入歳出差引)は、495億3千5百万円の黒字であり、これから繰越事業の財源として翌年度へ繰越すべき財源150億71百万円を差引いた実質収支は、344億63千万円で、前年度と比べて31億9千3百万円増加した。

イ 実質収支をみると、139の全団体が黒字となった。

### (2) 単年度収支

ア 単年度収支は前年度と比べ37億5千5百万円増加し、31億9千2百万円の黒字となった。

イ 実質単年度収支は、前年度と比べて3億9千万円増加し、104億3千9百万円の黒字となった。

なお、実質単年度収支の黒字要素である財政調整基金への積立金は103億1千5百万円で前年度と比べて11億5千6百万円減少し、同じく黒字要素である地方債の任意の繰上償還金は38億1千6百万円で前年度と比べて6億3千5百万円減少した。また、赤字要素である財政調整基金の取崩し額は68億8千3百万円で前年度と比べて15億7千4百万円増加した。